

みずほCustomer Desk Report 2022/02/25 号(As of 2022/02/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	114.96
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	114.90	1.1305	129.94	1.3546	0.7228
SYD-NY High	115.69	1.1309	130.03	1.3553	0.7233
SYD-NY Low	114.41	1.1106	127.92	1.3273	0.7095
NY 5:00 PM	115.55	1.1192	129.34	1.3376	0.7163
NY DOW	33,223.83	92.07	日本2年債	-0.0300	0.00bp
NASDAQ	13,473.59	436.10	日本10年債	0.1900	0.00bp
S&P	4,288.70	63.20	米国2年債	1.5747	▲2.99bp
日経平均	25,970.82	▲478.79	米国5年債	1.8635	▲4.48bp
TOPIX	1,857.58	▲23.50	米国10年債	1.9695	▲2.79bp
シカゴ日経先物	26,270.00	▲65.00	独10年債	0.1680	▲5.40bp
ロンドンFT	7,207.01	▲291.17	英10年債	1.4425	▲3.10bp
DAX	14,052.10	▲579.26	豪10年債	2.1680	▲8.50bp
ハンセン指数	22,901.56	▲758.72	USDJPY 1M Vol	6.75	0.35%
上海総合	3,429.96	▲59.19	USDJPY 3M Vol	6.86	0.38%
NY金	1,926.30	15.90	USDJPY 6M Vol	6.99	0.27%
WTI	92.81	0.71	USDJPY 1M 25RR	-1.13	Yen Call Over
CRB指数	269.016	0.69	EURJPY 3M Vol	9.13	0.70%
ドルインデックス	97.14	0.95	EURJPY 6M Vol	8.89	0.46%

東京	東京時間のドル円は114.90レベルでオープン。仲値後に115.11まで上昇するも、「プーチン露大統領がウクライナで軍事作戦の実施を決断」と報道され、ロシアによる軍事侵攻が始まるとリスクオフが広がる展開。主要株式市場の全面安とともに円買いが強まり、114円半ばまで急落し一時114.41まで下値を切り下げた。引けにかけて小反発するも安値圏のまま114.52レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は、114.52レベルでオープン。ウクライナのヘッドラインを受け欧州株は大幅下落でリスクオフ。円高圧力がみられたが有事のドル買い需要が強く、ドルは堅調。そのためドル円の下落も限定的で下値114.41を付けた後は上昇し114.79レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は114.79レベルでオープン。朝方は米失業保険の新規申請件数や継続受注者数、米第4四半期GDP(改定値)が発表されるも、ウクライナ情勢が注目される中、市場の反応は限定的だった。その後、特段ヘッドラインは見当たらずだったが、米金利の低下幅縮小を眺めながら買いが強まり115円台を回復。22日高値(115.24)や23日高値(115.20)を上抜けると買いが一段と加速し、115.65まで上昇。午後は115.30近辺まで反落する場面もあったが、米株の下げ幅縮小が円売りをサポートし、高値を115.69まで更新後、小幅反落し、115.55レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1170レベルでオープン。ドイツなどロシアは最大のエネルギー供給国であること、ウクライナがEU圏に隣接していることから、EUは米国と比べてより大きな影響を受けるとの見方から、オープン後も売り優勢の展開が続き、2020年6月以来の安値となる1.1108まで下落。売り一巡後はじりじりと買い戻し優勢となり、終盤には1.12レベルを回復。結局、1.1192レベルでクローズ。NY午後にはバイデン米大統領が会見でロシアへの追加制裁を発表するも、市場は特段反応しなかった。

【昨日の指標等】

Date	Time	米	Event	結果	予想
2月24日	22:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	1月 0.69	0.16
	22:30	米	新規失業保険申請件数	19-Feb 232k	235k
	22:30	米	GDP(年率/前期比)	4Q S 7.0%	7.0%
	22:30	米	個人消費	4Q S 3.1%	3.4%
	22:30	米	コアPCE(前期比)	4Q S 5.0%	4.9%
2月25日	00:00	米	新築住宅販売件数	1月 801k	803k

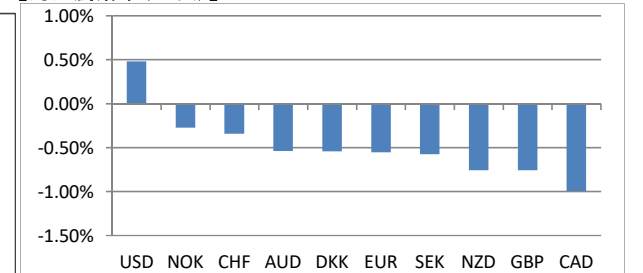
【本日の予定】

Date	Time	独	米	米	米	Event	予想	前回
2月25日	16:00	独				GDP(前期比)・確報	4Q -0.7%	-0.7%
	22:30	米				PCEフレイト(前月比/前年比)	1月 0.6%/6%	0.4%/5.8%
2月26日	00:00	米				中古住宅販売仮契約(前月比)	1月 0.2%	-3.8%
	00:00	米				ミシガン大学消費者マインド・確報	2月 61.7	61.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.00-116.00	1.1500-1.1250	128.50-130.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はウクライナ情勢HLを受け、大きく上下。114.90円でオープンした後、ロシアによるウクライナ侵攻が報じられると、一時114.41円まで下落。海外時間に入ると、ECBメンバーからの金融刺激策の出口政策実施が遅れる可能性とのコメントがなされ、EUR売りUSD買いの圧力に転じ、加えて発表された米経済指標も良好化することで、USD高地合いの流れが波及。一時、115.69円に到達する動きも見せたが、結局115.55円でクローズ。

本日も、ウクライナ情勢に関するHLに振られる展開を予想。その他、NY時間には2月ミシガン大学消費者マインドも発表予定。消費者のインフレ期待を示す結果が出れば、3月のFOMCで50bpの利上げのサポート材料となるため、要注意。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。